

第22回

長野県クラブユースサッカー選手権大会

(U-14)



期間：2016年6月25日(土)・26日(日)

7月9日(土)

8月14日(日)

9月24日(土)

会場：白馬スノーハープ、切久保第2、西山、
菅平高原グラウンド

主催：一般社団法人 長野県サッカー協会

主管：長野県クラブユースサッカー連盟

後援：上田市、白馬村、菅平高原観光協会、株式会社モルテン

長野県クラブユースサッカー連盟ホームページ

<http://www.jey-nagano.com>

大会役員

大会長	平林 正光 一般社団法人 長野県サッカー協会会長			
大会副会長	原 常夫 長野県クラブユースサッカー連盟会長			
大会委員長	中島 一雄 長野県クラブユースサッカー連盟理事長			
大会委員	塚田 政弘	堀 浩良	中村 保志	新井 幸宏
	青木 篤	甕 宏幸	酒井 雄高	稲田 良太郎
	渡辺 卓	小林 克也		

競技役員

競技委員長	新井 幸宏			
競技委員	青木 篤	甕 宏幸	酒井 雄高	平林 求仁男
規律委員	酒井 雄高			
審判委員長	中村 保志			
技術委員長	稲田 良太郎			
技術副委員長	渡辺 卓			
技術委員	加賀谷 渉	高橋 公明	富松 清次	佐々木 大佑
	黒田 善人			
大会事務局	新井 幸宏	青木 篤	甕 宏幸	酒井 雄高
	平林 求仁男			

過去の大会結果

年度	優勝	準優勝	三位
1995	FC松本ヴェガ	松本松島FC	
1996	FC松本ヴェガ	長野FCガーフ	
1997	FC松本ヴェガ	安曇野FC	
1998	FC松本ヴェガ	松本松島FC	
1999	J. F. C 須坂ヴェンセール	FC松本ヴェガ	
2000	FC. ASA FUTURO	J. F. C 須坂ヴェンセール	
2001	FC. ASA FUTURO	F. C. CEDAC	
2002	F. C. CEDAC	南長野ジュニアユースサッカークラブ	
2003	J. F. C 須坂ヴェンセール	佐久サーム FOOT BALL CLUB	
2004	FC. ASA FUTURO	F. C. CEDAC	
2005	FC. ASA FUTURO	F. C. CEDAC	
2006	上田ジェンシャン	佐久サーム FOOT BALL CLUB	
2007	FC. ASA FUTURO	アザリー飯田ジュニアユース	
2008	FC. ASA FUTURO	J. F. C 須坂ヴェンセール	
2009	F. C. 中野エスペランサ	F. C. CEDAC	
2010	F. C. CEDAC	サーム FOOT BALL CLUB	
2011	FC. ASA FUTURO	F. C. CEDAC	
2012	M.A.C SALTO ジュニアユース	FC ASA FUTURO	
2013	AMBICIONE 松本	アルティスタ JYFC	
2014	AC 長野パルセイロ	F. C. CEDAC	サーム FOOT BALL CLUB
2015	松本山雅 FC	AC 長野パルセイロ	AMBICIONE 松本

第22回長野県クラブユースサッカー選手権大会 (U-14)

大会要項

1. 主 旨 長野県サッカー協会及び長野県クラブユースサッカー連盟は長野県の将来を担うユース年代の少年達の、サッカー技術と向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チーム全てが参加できる大会として実施する。
2. 主 催 一般社団法人 長野県サッカー協会
3. 主 管 長野県クラブユースサッカー連盟
4. 後 援 上田市、白馬村、菅平高原観光協会、株式会社モルテン
5. 期 日 2016年6月25日(土)・26日(日) 7月9日(土)
8月14日(日)・9月24日(土)
表彰式：2016年9月24日(土)・・・決勝戦終了後
6. 会 場 白馬スノーハープ、切久保第2、西山、菅平高原グラウンド
7. 参加について 長野県クラブユースサッカー連盟に加盟する全チームに当大会への参加を義務付ける。
8. 参加資格 公益財団法人日本サッカー協会にチーム及び選手は第3種加盟登録し、かつ日本クラブユースサッカー連盟および長野県クラブユースサッカー連盟に加盟しているチームであって次の条件を満たすものに限る。
 - ①参加選手は、他クラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。
 - ②2002年4月2日以降の出生者を対象とする。
 - ③出場チームの同一組織(JFAクラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず出場を認める。
JFA認可通知書の写しを申し込みに併せて提出すること。
 - ④選手は公益財団法人日本サッカー協会発行の写真付き選手証を所持していること。
 - ⑤所属チームの代表が、身体人物共に適性と認めた者。
 - ⑥2016年6月13日(月)までに大会参加申込みを完了したチーム。
9. 表 彰 優勝チーム並びに準優勝チームには優勝杯並びに準優勝杯を授与し、次回までこれを保持せしめる。及び賞状を授与する。
3位チームには賞状を授与する。
10. 北信越大会への出場について
1位～3位チームは、第11回北信越クラブユースサッカー新人大会への出場を義務とする。また、4位～8位のチームには、第27回北信越クラブユースサッカー新人フェスティバルへの出場を義務とする。

11. 競技方法

①2016年度北信越ユースリーグ出場2チーム、2016年度長野県ユースリーグU-15（県1部）出場10チームは1次ラウンドを免除とする。第28回北信越クラブユースサッカー選手権（U-15）大会参加3チーム、第6回北信越クラブユースサッカー（U-15）デベロッパ大会出場3チームは1次ラウンド及び2次ラウンドを免除とする。以上を除くチームを2016長野県クラブユースサッカー選手権大会（U-15）の成績順位でA～Eまでの5グループに分け1次ラウンドリーグ戦を行い、各グループの1位チームと各グループ2位の中から成績上位3チームが2次ラウンドリーグ戦へ進出する。2次ラウンドは1次ラウンド免除チームと1次ラウンド勝ち上がりチームとでリーグ戦を行う。

2次ラウンドからの勝ち上がり10チーム、北信越大会出場の6チームで決勝トーナメントを行う。

②ルールは公益財団法人日本サッカー協会発行の「サッカー競技規則2015/2016」による。

③試合時間は、60分（30-7-30）とする。

競技時間内に勝敗が決まらない場合

予選リーグ・・・引き分けとする。

決勝トーナメント・・・PK戦方式により勝敗を決定する。但し、準決勝、決勝戦においては5分間休憩後10分の延長戦を行い、なお決まらない場合はPK戦方式により勝敗を決定する。

リーグ戦の成績は次のプライオリティで決定する。

1) 勝点は、勝ち=3点 引分け=1点 負け=0点

2) 勝点と同じ場合は得失点差の多いチームを上位とする。

3) 得失点差が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。

4) 3)でも同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引き分けの場合は抽選により決定する。

④警告・退場

本大会中に警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。

退場を命ぜられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会（または競技委員会等の規律委員会に代わるもの）で決定する。

⑤選手のエントリー変更、追加は、各チームが行う今大会第一試合開始前日18:00までに1回限り変更、追加を認める。それ以降の変更、追加は認めない。また背番号のみの変更はできない。変更登録用紙を大会事務局へメールで送信し、かつ試合ごとにメンバー表と一緒に提出すること。

⑥第一試合については試合開始45分前までにメンバー提出用紙に、先発する選手に○印をつけて本部に2部提出する。

それ以後の試合については前の試合のハーフタイム終了後とする。

- ⑦参加申込書に登録し得る人員は、役員7名、選手30名を最大とする。
- ⑧ベンチに入れる人数は登録されている選手30名の内20名までと、登録された役員7名の内5名とする。選手交代は競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から9名まで交代が認められる。自由な交代は適用しない。
- ⑨選手は試合毎に選手証で確認する。選手証のチェックは、試合開始7分前に会場責任者が行なう。選手証の不携帯、若しくは選手証に写真を貼っていない場合は出場を認めない場合がある。
- ⑩参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会にて決定する。
- ⑪試合成立は、試合開始時に11名出場すること。
- ⑫用具のチェックは、試合開始5分前に本部前で行なう。
- ⑬フィールド内での練習は、第1試合においては試合開始の30分前から10分間。他の試合は、前の試合のハーフタイムのみとする。
交代選手のウォームアップは、ボールを使わないでベンチ後方で行なうこと。
(ベンチ裏が狭い等困難な場合はグラウンドの本部指示による)
- ⑭交代用紙は、記入漏れが無いように選手・監督の氏名は全て書くこと。
交代でフィールドを退く選手は近いタッチラインから背番号を見せて出ること。速やかにベンチに戻り他の衣服を着用すること。
ベンチ内ではユニフォームの上にジャージ等を着ること。
- ⑮アクセサリ類の禁止。それ以外でも主審が危険と判断した場合は外すこと。
この場合、当該選手が競技開始時間に間に合わなくても競技を開始する。脛当て用のテーピング（ストッキング同色のみ）は認める。（ゴミの処理は確実に行うこと。）
- ⑯チームベンチは本部席を背に組み合わせの左右とする。
- ⑰天候等不慮の事故等により試合を継続することの可否は、主審が判断するが再試合の実施及び日時については理事会を招集し決定することとする。
- ⑱大会中の不慮の負傷等については応急処置を行うが、それ以後の怪我等の責任は一切負わない。各チームで対応すること。

12. 審判

- この大会の審判は公益財団法人日本サッカー協会に登録した審判員にて行う。
- ①各チーム帯同審判制とする。
 - ②各チームは2名の審判員を必ず登録する。
 - ③主審は3級以上とする。
 - ④審判員は代表者ミーティングに参加し、その後審判団の打ち合わせを行い、5分前には選手及び用具のチェックを行い試合終了後は当該ゲームの反省会を行うこと。
 - ⑤審判証のチェックを本部役員が行う。
 - ⑥全試合について、全審判員は審判報告書へ氏名、審判証NOを正確に記載すること。又、警告、退場があった場合は、重要事項報告書へ必要事項を正確

に記載する。

試合結果記入用紙へ必要事項を記載し、主審署名欄へサインを行う

13. その他

- ・新品の試合球を各チーム1個用意する。
- ・競技運営担当チームは、試合結果を試合結果記入用紙へ記載し、主審署名欄へサインをもらう。
- ・ベンチ及び本部席は禁煙。喫煙は指定された所定の場所で行うこと。
- ・手洗い場所、水飲み場はきれいに大切に使用すること。
- ・ごみの後始末は各チームの責任で行うこと。
- ・試合開始前に両チームの保護者に対してマナー遵守を依頼する。保護者の応援は原則として、ベンチの反対側とする。
- ・駐車場については、大会運営委員の指示によること。

14. 宿泊

6月25日(土)・26日(日)を菅平にて1泊2日で行い、1次ラウンド出場的全チームが宿泊することを義務と致します。

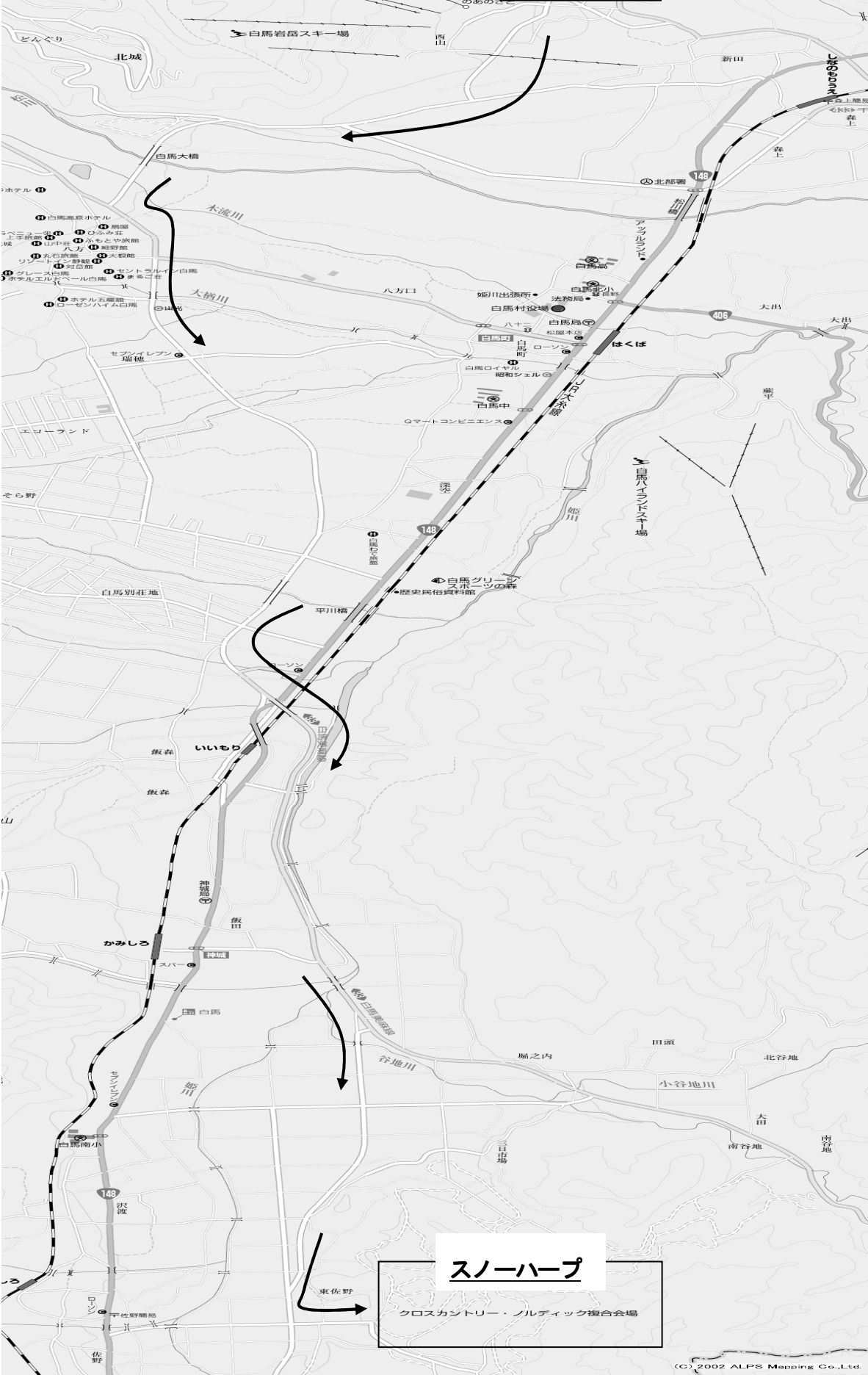
15. 大会、宿泊に関する申込み問い合わせ

【大会事務局 連絡先】

第22回長野県クラブユースサッカー選手権大会 (U-14) 大会事務局
新井 幸宏

会場案内 (スノーハープ)

切久保旅館街



スノーハープ
クロスカントリー・ルディック複合会場

第22回長野県クラブユースサッカー選手権（U-14）大会

菅平会場駐車についてのお願い

- 路上駐車厳禁。
- 各グラウンド駐車場は、大会役員およびチームスタッフのみが使用できる。
- 応援者、保護者等の車はチームの宿泊旅館か、つばくら館上のスキー場駐車場に駐車すること。駐車エリアは限られていますので乗合にて台数を1台でも少なくできるようにご協力をお願いいたします。
- 菅平高原温泉ホテル横の広域集荷場駐車場は使用禁止。
- 以上のことを応援にこられる保護者の皆さんへ周知徹底をお願いします。





For GAMES ゲーム

常に全力でゴールをめざす。
勝利をめざす。
それがサッカーという
僕が大好きなゲームに対する
リスペクト。



For REFEREES レフェリー

子どもたちもひとりひとりっばな選手。
しっかり目を見て握手する。
いいゲームをしようね。

For PLAYERS

選手

サッカーには敵はいない。
対戦相手は敵じゃない。
自分たちの力をためし、
サッカーを楽しむための大切な仲間。
試合のはじめに相手の目を見て
しっかりと握手する。
リスペクトの証^{あかし}として。



For COACHES コーチ

子どもたちに会う前には、
いつも自分を振り返る。
子どもたちは大切な相手。
ちゃんとしていないとはずかしい。
スマイルOK!

リスペクト

大好きなサッカーを
もっと楽しむために、
互いを「大切に思うこと」。
「フェアで強い」
日本サッカーを目指して。

日本サッカー協会、Jリーグは、
リスペクト・プロジェクトを
推進しています。



For SUPPORTERS サポーター

コーチはコーチに任せる。
レフェリーはレフェリーに任せる。
プレーは子どもたちに任せる。
私たちは応援し、見守る。

大切に思うこと

— RESPECT PROJECT —

財団法人 日本サッカー協会の公式ホームページ
<http://www.jfa.or.jp/>

財団法人 日本サッカー協会
〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷 3-10-15)JFAハウス
TEL.03・3830・2004 FAX.03・3830・2005

Jリーグの公式ホームページ
<http://www.j-league.or.jp/>

社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷 3-10-15)JFAハウス9階
TEL.03・3830・2006 FAX.03・3830・2007



DREAM

J.LEAGUE

フェアプレーとは

1

ルールを正確に理解し、守る

フェアプレーの基本はルールをしっかりと知った上で、それを守ろうと努力することである。

2

ルールの精神：安全・公平・喜び

ルールは、自分も他人もけがをしないで安全にプレーできること、両チーム、選手に公平であること、みんなが楽しくプレーできることを意図して作られているのである。

3

レフェリーに敬意を払う

審判は両チームがルールに従って公平に競技ができるために頼んだ人である。人間である以上ミスもするだろうが、最終判断を任せられた人のだから、審判を信頼し、その判断を尊重しなければならない。

4

相手に敬意を払う

相手チームの選手は「敵」ではない。サッカーを楽しむ大切な「仲間」である。仲間にけがをさせるようなプレーは絶対にしてはならないことである。

JFAサッカー行動規範

1

最善の努力

どんな状況でも、勝利のため、またひとつのゴールのために、最後まで全力を尽してプレーする。

2

フェアプレー

フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がける。

3

ルールの遵守

ルールを守り、ルールの精神に従って行動する。

4

相手の尊重

対戦チームのプレーヤーや、レフェリーなどにも、友情と尊敬をもって接する。

5

勝敗の受容

勝利のときに慎みを忘れず、また敗戦も、誇りある態度で受け入れる。

6

仲間の拡大

サッカーの仲間を増やすことに努める。

7

環境の改善

サッカーの環境をより良いものとするために努力する。

8

責任ある行動

社会の一員として、責任ある態度と行動をとる。

9

健全な経済感覚

あらゆる面で健全な経済感覚のもとに行動する。

10

社会悪との戦い

薬物の乱用・差別などのスポーツの健全な発展を脅かす社会悪に対し、断固として戦う。

11

感謝と喜び

常に感謝と喜びの気持ちをもってサッカーに関わる。